

日本語 4110, 2007年秋学期
月水金, 午前 10:10-11:00; ジョー・ブラウン・ホール 153号室

担当: 森 正樹
研究室: ジョゼフ・ブラウン・ホール 228
電話番号: 706-542-2360 電子メール: mamom@uga.edu
研究室の時間: 月曜日午前 9:05-9:55, 木曜日午前 9:55-10:45, または予約

目的

日本語の使用能力を4分野(読む、書く、話す、聞く)全般に渡って上級レベルで高めます。また、日本文化についての認識と理解を深め、日本人とのコミュニケーションも体験し、ビジネス日本語の予備的知識も習得します。

使用テキスト:

三浦 昭、マックグロイン花岡直美「中級の日本語」(ジャパン・タイムズ, 1994)
その他

推薦辞書

一般の日本語テキストを読む技術を身につけるため、下記の漢英辞書のうちの一冊、または同程度の電子辞書を学生が自ら購入しなければなりません。

Wolfgang Hadamitzky and Mark Spahn. The Kanji Dictionary (漢英熟語字典) Tuttle Publishing. 1996. [0804820589]

Andrew N. Nelson and John H. Haig. The New Nelson Japanese-English Character Dictionary (新版ネルソン漢英辞典) Revised. Tuttle Publishing. 1997. [0804820368]

また、良質の和英/英和辞書、及び本格的な日本語辞書を使用することも望まれます。

成績評価上注意すべき点

1. 正当な証明がなければ欠席は1回につきマイナス5点です。この場合の正当な証明とは医者などからの電話番号と署名入りの公式な手紙のことで、学生が授業に復帰次第提出します。授業開始後5分以上遅れた時は遅刻で、以後10分遅れる毎にマイナス点が1点ずつ引かれます。
2. 正当な証明の有無に関わらず授業を9回以上欠席すると、コースの最終成績としてAまたはA-を取る資格がなくなります。正当な証明なしに学期の中間点(10月9日)以前に7回、学期を通して13回休んだ場合は「過剰欠席」としてコースから除名されます。
3. 授業参加は出席及び授業内容に関する自発的な発言を主体とし、授業中に許可がないのに日本語以外の言葉で発言したり、授業内容と関係ないことについて会話をしたりすると減点の対象になります。
4. 学期の中間点以前にコースを自ら公式に止めた場合、評価基準に照らしてその時点での成績が60.1%未満の場合は、最終成績はWFとなります。
5. 遅れて提出された宿題・作文等は、10点以上のものはマイナス10%、10点未満のものはマイナス1点です。締切から1週間以上経ったものは受け付けられません。受けなかった宿題としての単語・漢字テストは、正当な証明がなくても1週間以内に限り最大4点として受けることができます。
6. 休んだ試験・小テストは正当な証明がなければ後から受ける事が出来ません。

成績評価基準

授業参加 (5点 x 45回)	225	92.1% 以上	A
宿題 (5点 x 30回)	150	92.0% - 90.1%	A-
作文 (30点 x 2 + 35点)	95	90.0% - 86.1%	B+
発表 (35点)	35	86.0% - 82.1%	B
小テスト (40点 x 3回)	120	82.0% - 78.1%	B-
中間試験 (60点 + 40点)	100	78.0% - 74.1%	C+
<u>期末試験 (60点 + 40点)</u>	<u>100</u>	74.0% - 70.1%	C
合計 (最大)	825	70.0% - 66.1%	C-
		66.0% - 60.1%	D
		60.0% 以下	F

スケジュール

8月 17日 金: コースの紹介		10月15日 月: ビデオ	宿18 (BBS)
20日 月: 第11課 (会話1)	宿1 (単漢テ)	17日 水: 第15課 (会話1, 2)	宿19 (単漢テ)
22日 水: 第11課 (会話2, 3)	宿2 (単漢テ)	19日 金: 第15課 (会話3)	宿20 (単漢テ)
24日 金: 第11課 (読み物)	宿3 (単テ)	22日 月: 第15課 (読み物1)	宿21 (単テ)
27日 月: 第11課 (文法)	宿4 (文法)	24日 水: 第15課 (文法)	宿22 (文法)
29日 水: 第11課 (運用連習)	宿5 (電メ)	26日 金: 秋休み	
31日 金: 小テスト1 (第11課)		29日 月: 第15課 (運用連習)	作文3
9月 3日 月: 労働休日		31日 水: 小テスト3 (第15課)	
5日 水: 第12課 (会話1, 3)	宿6 (単漢テ)	11月 2日 金: 歌	宿23 (作直)
7日 金: 第12課 (会話2)	宿7 (単漢テ)	5日 月: 第14課 (読み物1)	宿24 (単テ)
10日 月: 第12課 (読み物)	宿8 (単テ)	7日 水: 履歴書	宿25 (BBS)
12日 水: 第12課 (文法)	宿9 (文法)	9日 金: ビジネス日本語	宿26
14日 金: 第12課 (運用連習)	作文1	12日 月: ビジネス日本語	宿27
17日 月: 小テスト2 (第12課)		14日 水: ビジネス日本語	宿28
19日 水: 作文1見直し	宿10 (作直)	16日 金: ビジネス日本語	宿29
21日 金: 第13課 (会話1, 2)	宿11 (単漢テ)	19日 月: ビジネス日本語	宿30
24日 月: 第13課 (会話3)	宿12 (単漢テ)	21日 水: 感謝祭休暇	
26日 水: 第13課 (文法)	宿13 (文法)	23日 金: 感謝祭休暇	
28日 金: インターネットBBS	宿14 (BBS)	26日 月: 日取り決め、コース後半の復習	
10月 1日 月: 第13課 (文法)	宿15 (文法)	28日 水: 期末筆記試験 (第14,15課, ビジネス)	
3日 水: 第13課 (運用連習)	作文2	30日 金: 発表	
5日 金: コース前半の復習	宿16 (ニュース)	12月 3日 月: 発表	
8日 月: 中間筆記試験 (第11-13課)		4日 火: 発表	
10日 水: 中間口頭試験 (第11-13課)		5日 水: 発表	
12日 金: 作文2見直し	宿17 (作直)	10日 月: 期末口頭試験 (第14,15課, ビジネス)	
		11日 火: 期末口頭試験 (第14,15課, ビジネス)	

* All academic work must meet the standards contained in "A Culture of Honesty." Students are responsible for informing themselves about those standards before performing any academic work.

* The course syllabus is a general plan for the course; deviations announced to the class by the instructor may be necessary.